

## 特集 志津川高校の魅力向上に向けて

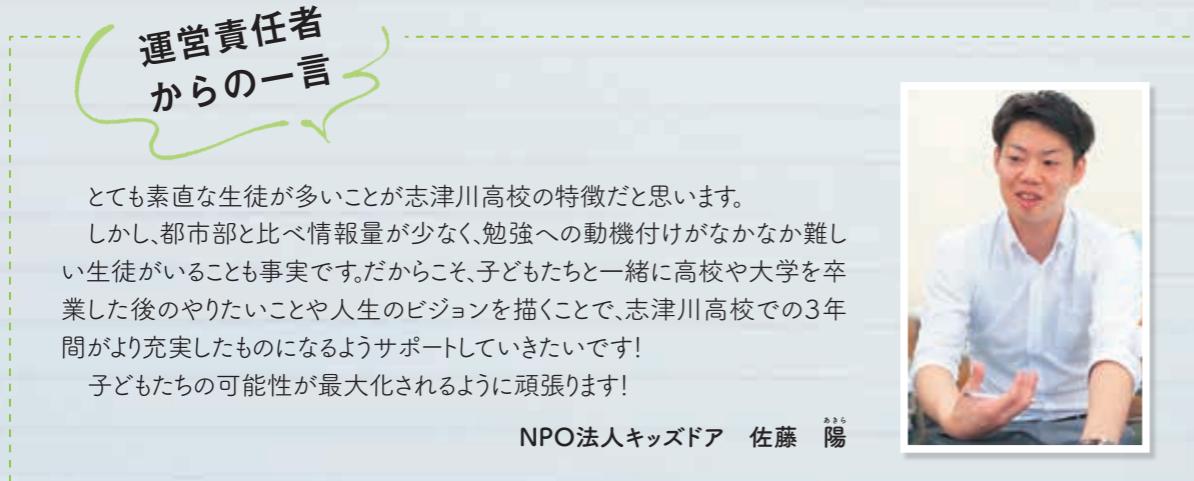
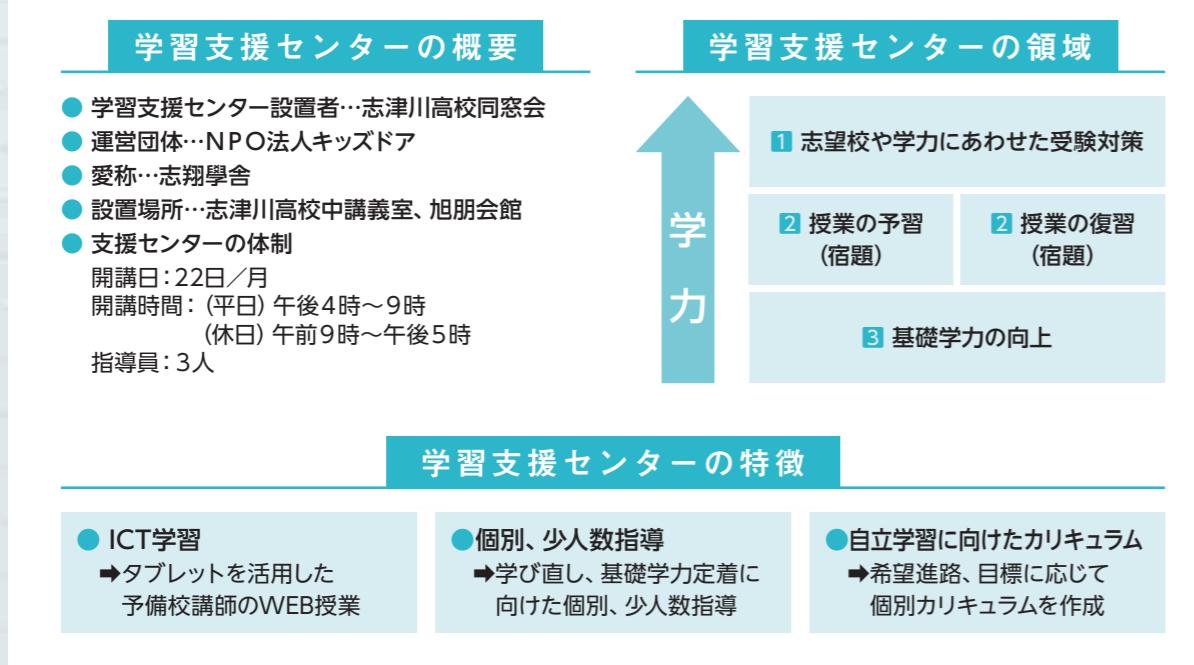
今回のアンケート結果から志津川高校の魅力向上に必要な要素としては、希望する進学先への入学や希望する就職先への就職など、多岐にわたる要素が複数存在し、町ではこれらの課題解決には迅速な対応が必要と考えました。

### 県内初！ 学習支援センター設置への支援

アンケート結果から進路決定に際し、学力が大きな要素を占めていること。また、志津川高校には、進学・学力対策が求められていることが判明しました。

志津川高校では、生徒の個性にあつたきめ細やかな学習指導を行っているものの、全ての生徒のニーズに応えることには限界があります。また、高校教師の役割は多岐にわたり、その負担が増加傾向にあります。このような現状から、町では志津川高校への学習支援の可能性を検討し、その結果、志津川高校同窓会が高校での学習指導を支援することを目的とした場を設置し、これに対して町が財政的な支援を行うこととしました。なお、この取り組みは、県内で初の試みです。

志津川高校学習支援センターの概要は、次のとおりです。



### 志津川高校魅力化推進懇談会の設置

地域活性化やまちづくりの担い手確保のためには、町内唯一の高校教育機関である志津川高校の維持・存続は死守すべき課題であることから、高校存続の議論が開始される前に町、高校、NPO、地域住民などが一体となり、志津川高校のさらなる魅力向上を検討することが、将来にわたり高校が存続することにつながると考え、昨年11月に志津川高校魅力化推進懇談会を設置し、議論を開始しました。

### アンケート結果から見えてきたものとは？

志津川高校の魅力向上を検討するため、昨年12月に町内の中学1・2年生とその保護者を対象にアンケート調査を実施しました。

このアンケート結果では、志津川高校に進学する生徒は「学校が近い」や「連携型入試で受験できる」ということが受験の動機となっているのに対し、志津川高校以外の高校に進学する生徒は「新しい環境で高校生活を送りたい」「より高いレベルの高校で挑戦したい」「希望する部活動があるため」「4年制大学などへの進学を希望するため」といったことが受験の動機になっていることが判明しました。また、現在の志津川高校には「学力・進学対策に力を入れる」ことが望まれていることも判明しました（図3）。

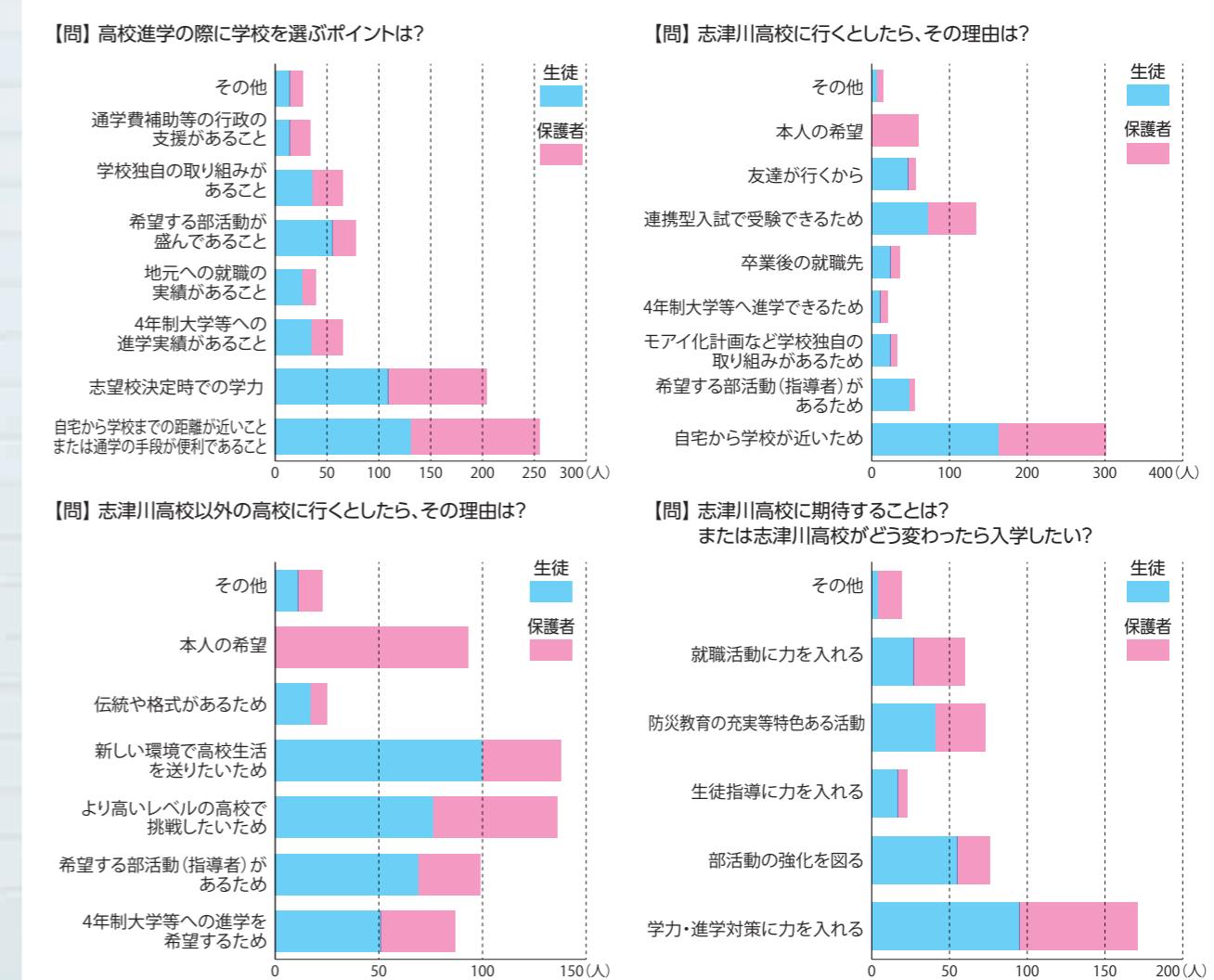


図3 生徒・保護者アンケート調査結果